

futbol y vida

Poco a poco ...
boco y boco ...



2022年 鍛錬期のトレーニング継続中!!
football carnival 第二弾 できるか?

2022年 鍛錬期「寒稽古」第一弾が無事に終了!!

目標達成に向けて、今はコロナ禍の中で風雪に耐えて過ごす!!

昨年末から新型コロナウイルスの感染者数が徐々に増え始め、新学期に入るとその数は急激に増加し続け、東京都は1月22日(土)に新規感染者数が初めて1万人を超えました。また、今週火曜日(25日)の都立高校推薦入試の日からは四日連続で感染者数が過去最多を更新し、東京都は1万7千人、全国では8万人を超えました(28日現在)。今回のオミクロン株は感染力が強いのですが、それ以上にたくさんの情報が溢れています。Dr.玉井氏(諏訪中央病院医師)は「過度に恐れず、甘く見過ぎず、正しく対応し、気持ちを緩めずに引き続き感染対策(手洗い、マスク、換気、密にならず)を徹底して、第六波を乗り越えていきましょう。」と話しています。

今後も感染症予防に努めながら、現状ではサッカー部の活動を継続して行っていく方向で考えています。



<全員揃うのを願う>

片倉高校サッカー部の冬の風物詩へ「寒稽古」第一弾終了!!

三学期がスタートして、二週目の1月17日(月)~21日(金)までの五日間(7:00~8:15)、鍛錬期の代名詞「寒稽古」第一弾が行われました。寒稽古は、私がサッカーの指導を始めてからサッカー部の冬の恒例行事として、毎年一年間で一番寒い(大寒)時期に行っています。片倉高校へ赴任してから昨年度は新型コロナの影響で実施でなかったもので、今年が初寒稽古となります。

寒稽古は、いつもより早く布団から飛び出し外がまだ暗い中で学校へ向かう。いつもとは違う冷たい空気の中で仲間とボールを蹴ることはとても新鮮です。また、寒稽古では、サッカーに対する自分自身の気持ちと向き合い、「本気度」を確認することができます。今年は、W-upで鬼ごっこやボールを複数使ったトレーニングやゲームなど「脳トレ」にトライし、早朝から身体だけではなく、頭にも刺激を入れていい汗をかくことができました。この日は、勉強も捗ります。

尚、「寒稽古」第二弾は、2月14日~行われます。



<寒稽古中には日頃気が付かない光景をたくさん目にする事ができる(左:ウルフムーン)>

U16第七地区選抜に三名が選出される

毎年、二月上旬に行われている「U16 東京都地区選抜研修大会」に、片倉高校からは石坂垣空と熊谷慈玖、福住颯哉遥の三名が七地区選抜チームに選ばれました。三年前にGKで選出されて以来複数の選出は片倉高校サッカー部としては初めての事です。

選抜チームでは、自チームとは全く違う環境と限られた時間の中で如何にコミュニケーションを取りながら、自分のストロングポイントを活かしアピールできるかが求められます。東京都の高校一年生の精鋭たちが集う選抜大会でプレーすることで肌で感じた貴重な経験をチームに還元し、片倉高校の躍進に活かすチャンスだったのですが、1月に入り新型コロナ感染者数の激増により、残念ながら二年連続で選抜大会は中止になりました。しかし、中学校時代に東京都で無名の選手たちが三名も選抜チームに選出されたことは、片倉高校サッカー部としては日頃の取り組みの成果のひとつであると前向きに捉えています。結果に慢心することなく、前途に邁進できるように、引き続きこの後の鍛錬期でコツコツ積み上げていきたいと思えます。



＜地区選抜に選出されただけに満足せずに、更に精進し今後の成長を期待する!!＞

<After the Game>

2022年、片倉高校サッカー部初の鍛錬期がスタートし、「K's football carnival」や「寒稽古」第一弾も無事に終了し、順調に冬のトレーニングが進んでいましたが、一月中旬から新型コロナウイルスの感染者数が激増し、ここに来てサッカー部の活動にも影響が出始めました。基本的には、TRM以外は予定通り活動をしていく予定です。各ご家庭の状況や考え方もあると思えますので、トレーニング参加の判断は保護者の方に委ねたいと思えます。

引き続き感染症予防に努めながら、一日も早く、以前のように子どもたちが思う存分サッカーができる日に戻れるようになるのを祈るばかりです。



＜コロナ禍の中だからこそFootballで大切な仲間と繋がっていききたい!!＞